

## I 令和3年度 事業報告

令和3年度は長引く新型コロナウイルス感染症の流行により、経済的困窮、雇用の不安定等の課題が増大し、子育てや介護、高齢者のフレイル悪化への影響等、社会的孤立をはじめとする地域生活課題の複雑化・多様化の進行が懸念されています。

こうした状況に対し、神戸市社会福祉協議会では区社会福祉協議会と一体となり「“こうべ”の社会福祉協議会 地域福祉推進計画2025」を策定し、国で進める「我が事、丸ごと」をキーワードとした「地域共生社会の進展」と、国際的に進められている「SDGs=誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を推進しているところです。

社会福祉法人神戸市須磨区社会福祉協議会（以下（「本会」という）では令和2年度より取り組んでいる「Re<sup>3</sup>（れれれ）大作戦」として、関係機関との連携のもと「with コロナ」に対応するための事業の見直しや、新しい地域福祉活動のカタチとなる仕組みづくりなどに取り組みました。また、本会事業の実施にあたっては感染防止対策を徹底し、高齢者等の居場所づくり、地域活動再開に際しての相談支援、感染症予防対策の啓発等を実施しました。

“こうべの社協”「Re<sup>3</sup>（れれれ）大作戦」 “こうべの社協” Re<sup>3</sup>れれれ大作戦😊

新型コロナウイルス感染症により縮小や中止を余儀なくされた地域福祉活動を、「with コロナ」に対応した“新しいカタチ”で再開（Restart）することで、途切れかけた地域住民のつながり（Relationships）を紡ぎなおす（Rebuilding）ための取り組みです。

<以下、事業報告内の表示について>

※  マーク：赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金配分金事業で実施

※ “こうべの社協” Re<sup>3</sup>れれれ大作戦😊：「Re<sup>3</sup>（れれれ）大作戦」で実施

# 1 法人運営事業

## (1) 理事会・評議員会・監事監査等の開催

会 議	開 催 日 (決 議 日)	内 容
第1回 理事会	令和3年4月 27日(火) ※書面決議	第1号議案 評議員選任候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員会の招集について
第2回 理事会	令和3年6月 9日(水) ※書面決議	第1号議案 令和2年度事業報告(案)及び会計決算(案)について 第2号議案 任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について 第3号議案 次期評議員選任候補者の推薦ならびに評議員・選任解任委員会の招集について 第4号議案 定時評議員会での決議等の省略及び提出議案について
第3回 理事会	令和3年6月 28日(月)	第1号議案 理事長・副理事長の選任について 第2号議案 顧問の委嘱について
第4回 理事会	令和4年 3月22日(火)	第1号議案 令和3年度補正予算(案)について 第2号議案 令和4年度委託契約の締結について 第3号議案 令和4年度役員賠償責任保険契約の締結について 第4号議案 令和4年度事業計画(案)及び会計予算(案)について 第5号議案 経理規程の改正について 第6号議案 評議員会の招集ならびに提出議案について

第1回 評議員会	令和3年 6月28日(月) ※書面決議	第1号議案 令和2年度事業報告(案)及び会計決算(案)について 第2号議案 理事及び監事の選任について
第2回 評議員会	令和4年3月 22日(火)	第1号議案 令和3年度補正予算(案)について 第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び会計予算(案)について

監事監査	令和3年5月 21日(金)	令和2年度業務執行状況及び財産の状況に関する監査
------	------------------	--------------------------

善意銀行 運営委員会	令和3年 6月28日(月)	報告事項 令和2年度善意銀行預託および払出について
	令和4年 3月22日(火)	第1号議案 令和4年度善意銀行事業計画(案)について 第2号議案 令和4年度善意銀行収支予算(案)について

## (2) 評議員選任・解任委員会の開催

会 議	開 催 日	内 容
第1回 評議員選任・解任委員会 ※書面決議	令和3年 5月11日(火)	評議員の選任について
第2回 評議員選任・解任委員会 ※書面決議	令和3年 6月23日(水)	評議員の選任について

※ 書面決議による会議の開催日は、構成員の皆さまからの同意が得られた日を記載。

### (3) 理事長感謝状の贈呈

各部門	個人	団体・グループ
善意銀行の部	1	5
ボランティア活動の部	12	3

※ 例年は6月開催の理事会に併せ贈呈式を開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事務局より受賞者へ個別に贈呈。

## 2 地域福祉・地域共生の推進

### (1) 地域福祉ネットワーク事業

既にある制度や福祉サービスでは解決が困難な、悩みや困りごとなどの福祉的な課題に、地域の方々や専門機関と共に取り組み、制度の狭間や複合化した福祉課題の解決に向けたネットワークづくりを推進した。また、Eメールを活用した相談にも応じた。

#### ア 相談支援実績

- ・ ニーズの掘り起こし(新たな相談件数) 162件
- ・ 地域福祉ネットワークによる継続支援 1,573世帯(延べ世帯数)
- ・ 区生活支援課くらし支援窓口との連携事例 359件

#### イ ひきこもり支援意見交換会

地域社会全体の課題である「社会的孤立」をテーマに、民生委員・児童委員、主任児童委員が現状や支援施策を知り、民生委員・児童委員活動の中で、ひきこもりや社会的孤立の課題支援について考え、取組むきっかけとした。また、コロナ禍での開催となり、オンライン講座を併用して運営を行った。

- ・ 開催日 毎月1回定例開催(全9回)
- ・ 場所 須磨区役所 201会議室他
- ・ 内容 「ヤングケアラーについて学ぶ」  
岡本 和久氏(神戸市福祉局子ども・若者ケアラー支援担当課長)  
「精神科医が考える社会的孤立」  
山西 薫氏(精神科医) 他
- ・ 参加者 延べ239名(うちオンライン受講44名)

#### ウ 「地域福祉の担い手支援」を目指した活動の展開 こころの社協 **Re<sup>3</sup>れわれれ大作戦**

コミュニティビジネスの手法を活用して、自分のキャリアやスキルを活かした地域の課題解決の取り組みを通じた、活動者自身の生きがいの創出や新たな活動者の発掘育成を目的に「すまコミュニティビジネス大学」を開催した。今年度より修了生がファシリテーターとなり受講生のサポートをし、修了生の交流会も開催してつながりづくりを支援した。

##### (ア) すまコミュニティビジネス大学

- ・ 開催日 令和3年9月15日(水)～令和4年3月9日(水)(全11回)
- ・ 場所 須磨区役所 403会議室他/オンライン講座同時開催
- ・ 講師 畠 健太郎氏(プリズムデザインラボ代表)
- ・ 参加者 14名(延べ150名)

##### (イ) 受講生によるビジネス企画公開プレゼンテーション

- ・ 開催日 令和4年3月9日(水)
- ・ 場所 須磨区文化センター 大ホール
- ・ 参加者 37名

(ウ) すまコミュニティビジネス大学 修了生交流会

- ・開催日 令和4年3月9日(水)
- ・場所 須磨区文化センター 第3会議室
- ・参加者 21名

(2) 地域福祉活動の支援のために

ア ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の支援 

ひとりぐらし高齢者等が、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、民生委員・児童委員と協力して、訪問等により安否確認を行っている友愛訪問グループに対して、活動の支援を行った。

- ・グループ数 129 グループ (ボランティア 649名)
- ・対象高齢者数 1,702名
- ・安否確認回数 延べ183,285回

イ ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動の支援 

ひとりぐらし高齢者等を対象に閉じこもり防止やコミュニティへの参加を目的に実施している区内のふれあい給食会の活動支援を行った。また、実施団体同士のつながりづくりや運営支援を目的とした研修・交流会を実施した。

区内ふれあい給食会の活動状況

- ・グループ数 32 グループ (ボランティア 554名)  
※うち、令和3年度活動中止 2グループ
- ・対象高齢者数 1,022名
- ・開催回数 225回

ウ つどいの場支援事業

生活支援コーディネーターを中心に、あんしんすこやかセンター等と連携し、高齢者の介護予防や地域での支え合い体制づくりを目的とする「つどいの場」活動に係る、新規立ち上げの準備から補助金申請、活動の定着に向けての支援を行った。

- ・申請団体 14団体 (14団体：運営補助、0団体：立ち上げ応援補助)

(3) 地域子育て推進事業の実施

地域における子どもの見守りとともに児童健全育成を目的とした行事や、親子のコミュニケーション促進と子育て力の向上を目的とした行事等を実施した。また、児童館職員や子育てコーディネーターを地域の関係機関・団体に派遣し、子育てのコミュニティづくりを推進した。

ア 子育てコミュニティ育成事業

地域における子育てコミュニティづくりを目的に実施した。

児童館名	回数	主な内容
板宿	1	凧制作と凧揚げ
妙法寺	6	親子で夏のスノードーム作り、お茶会、クリスマスリース作り、年末お楽しみ会
高倉台	4	夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、立春・節分のつどい
落合	10	第1～6回推進委員会、夏祭り、お手玉あそび、おもしろゲーム大会、地域防災訓練
横尾	1	夏祭り
東須磨	3	ラジオ体操と交通安全教室、マラソン大会、バレーボール大会
若草	3	竹馬づくり、しめなわづくり、もうすぐ1年生
合計	28	(参加者 延べ 2,026名)

イ 須磨区子育て支援ネットワーク会議、地域連絡会への参加

- ・参加回数 9回(9地域) ※感染対策で中止地域あり

ウ 須磨区出前親子館の実施

近隣に児童館のない地域で児童館職員等が講師となり親子ふれあひあそびを実施した。

- ・開催日 令和3年10月3日
- ・場所 離宮前町公園
- ・参加者 乳幼児10名、大人9名、ボランティアスタッフ8名

エ 親子向け防災プログラムの実施

区内親子サークルや児童館を利用する親子に対し、日ごろからの備蓄や地域とのつながりについて学ぶ機会として、備蓄用食品の試食や防災プログラム等を実施した。

- ・開催日 令和3年10月14日～令和4年1月20日(合計5回)
- ・場所 大黒児童館、北須磨児童館、妙法寺児童館、高倉台児童館、若草児童館
- ・参加者 幼児41名、大人31名、ボランティア2名

オ 児童館リサイクル活動への支援

保護者から子ども用品のリサイクルの希望の声を受け、児童館にて交換会を実施した。物品を提供する側とされる側の保護者が子ども用品を通して交流が深まり、つながるきっかけとなった。

- ・開催日 令和3年5月16日～令和4年3月16日(合計12回)
- ・場所 白川台児童館、板宿児童館、若草児童館、高倉台児童館、北須磨児童館、たかとり児童館
- ・参加者 幼児136名、小学生5名、大人173名、ボランティア1名

カ 子どもヘルパー活動の実施 

子どもたちが地域活動のお手伝いやボランティア活動について、自ら企画や準備、実施し、地域の中で活躍する中で思いやりや奉仕の心を培うことを目的に実施した。(地域ふれあい交流、乳幼児とのふれあい、共同募金の街頭募金活動等)

- ・実施館 高倉台児童館、落合児童館、横尾児童館・横尾学童保育コーナー
- ・実施回数 合計28回
- ・場所 各児童館及び児童館周辺地域、施設等
- ・活動人数 延べ328名(登録人数59名)

キ マッサージインスクールの開催

国際インファントマッサージ協会 公認インストラクターによる親子向けの教室を開催した。

- ・実施日 令和3年8月16日～12月14日(合計6回)
- ・参加者 小学生176名、大人11名

ク こどもの居場所づくり事業の支援 こころの社協 **Re<sup>3</sup>れわれ大作戦**

コロナ禍での実施状況の確認、現地確認や情報提供、相談を受ける等支援を行うとともに、新たに「須磨区こどもの居場所づくり立ち上げ応援助成」を設立して「こどもの居場所」の立ち上げ及び既存団体の事業拡充を支援した。また、民間企業等と連携し、こどもの居場所等の利用者へ寄贈物品やお菓子の配布を行った。

- ・巡回等 20 回 ・運営支援 10 回
- ・助成申請 2 団体、助成決定 2 団体 合計 99,940 円

《内訳》

立ち上げ 1 団体 50,000 円、事業拡充 1 団体 49,940 円

(ア) こどもの居場所づくり情報交換会

- ・開催日 令和4年3月23日(水)
- ・場所 須磨区役所2階201会議室
- ・参加者 6団体 1個人  
(こども食堂・学習支援3団体、学習支援2団体、1個人)

(4) 福祉・人権 啓発事業の実施

ア 夏休み親子手話教室の開催

須磨区内の小学生と保護者を対象に、あいさつや自己紹介等の簡単な手話の習得と聴覚障がい者への理解を深めることを目的に、夏休み親子手話教室を開催した。

- ・開催日 令和3年8月8日(日)
- ・場所 北須磨文化センター3階 大会議室
- ・協力 須磨区聴力言語障害者福祉協会、手話サークル ころろ
- ・参加者 小学生22名 保護者20名

(5) 認知症にやさしいまちづくりの推進

子どもたちが認知症への理解を深められるプログラムである「認知症キッズサポーター養成講座」について、区内小中学校に対して広報およびアンケートを実施した。

(6) 公募助成事業「こすもスマイル助成」による居場所づくり支援

須磨区内の地域団体やボランティア等が取り組む「居場所づくり」事業等を支援するために、赤い羽根共同募金と善意銀行を財源として、外部委員の審査による公募助成事業を行った。

- ・申請団体 3 団体
- ・助成決定 3 団体 (3 事業) 合計 222,000 円

《内訳》

備品費助成 2 事業 172,000 円／運営費助成 1 事業 50,000 円

(7) 居場所づくりおたすけ助成の実施【新規】 こころの社協 **Re<sup>3</sup>れわれ大作戦**

神戸市社会福祉協議会からの補助金を財源とした助成制度を設立し、高齢者、障がい者、子ども等の地域住民が安心して過ごせる居場所づくりの立ち上げや、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止している居場所の再開及び継続について支援を行った。

- ・申請団体 7 団体
- ・助成決定 7 団体 合計 140,000 円 (1 団体あたり 20,000 円)

### 3 高齢者福祉の推進

#### (1) 大規模公営住宅地域見守り体制の強化【新規】

「見守り支援員」を1名配置し、高齢化が進み福祉ニーズが特に高い大規模公営住宅域の地域見守り体制を強化した。

##### ア 民生委員児童委員の欠員地区の負担軽減

欠員地区を担当する地区民児協会長等の負担を軽減するため、見守り支援員が高齢者等の定期訪問を行い、小地域連絡会へ参加する等、地区民児協と連携しながら見守り活動を行った。

- (ア) 欠員地区での見守り活動 (2 地区、見守り対象高齢者 43 名、安否確認回数 552 回)
- (イ) 連絡会等への参加 (7 地区、22 回)

##### イ あんしんすこやかルーム廃止後のつどいの場の確保

令和2年度末に事業終了となった大規模公営住宅に高齢者の自立支援拠点として設置された区内5か所のあんしんすこやかルームの代替機能として、地域住民が主体となる高齢者の居場所の運営を支援した。(3 地区、状況把握 19 件、関係機関との連携 1 件)

##### ウ フレイル予防活動の推進及びコロナ禍の中での高齢者の居場所づくりへの支援

高齢者がフレイル予防活動を行ったり、交流する場が少なくなっているため、あんしんすこやかセンターが実施するフレイル予防支援事業や地区民児協等と連携してフレイル予防活動の推進及びコロナ禍の中での高齢者の居場所の立ち上げや定着に向けた支援を行った。

- (ア) フレイル予防支援事業等との連携 (4 地区、7 件)
- (イ) 高齢者の居場所の支援 (22 地区、状況把握 137 件、関係機関との連携 3 件)

#### (2) あんしんすこやかセンターと連携した支え合い活動の推進

高齢者が住みなれた地域で、安心して生きがいのある生活ができるよう、関係団体と協働し、地域で互いに支え合える見守り体制の仕組みづくりを推進した。

##### ア 地域支え合い推進員との連携

区内8か所のあんしんすこやかセンターに配置された地域支え合い推進員と連携し、見守り希望者や地域の方からの相談・通報への対応や、見守りが手薄な地域への暫定的な訪問活動、高齢者生活情報等の提供、介護予防の推進やコミュニティづくり支援等の地域支え合い活動の支援を行った。

##### (ア) 小地域連絡会見守りネットワーク事業の開催

- ・ 民生委員児童委員協議会を単位に、見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、活動に関する情報交換を行う地域見守り連絡会に参画した。(開催回数 88 回)
- ・ 地域見守り活動の一層の推進を目的とし、各あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員が中心となり、民生委員・児童委員、友愛訪問ボランティア、区社協等の地域活動者及び団体が参加する見守りネットワーク会議の開催を支援した。

(開催回数 42 回)

##### (イ) 情報紙「赤灯台」の発行 (発行回数 4 回)

地域支え合い推進員が主体となり、地域の高齢者の身近で役に立つ情報を発信する、情報紙「赤灯台」を発行した。

(ウ) 『すまっぷコスモス通信』の発行 「とらへの社報」 **Re<sup>3</sup>れれれ大作戦** 

コロナ禍での地域福祉活動の状況、おすすめのお出かけスポット、ウォーキングマップ等を紹介し、高齢者の閉じこもり防止を促すとともに、地域福祉活動が継続・再開できるよう支援した。

### (3) 生活支援体制整備事業「実務者会（協議体機能を有する会議）」の開催

「新型コロナウイルス」をテーマに、グループワーク等を通じて実務者間で情報共有した。また、須磨保健センターや西部衛生監視事務所による衛生管理研修も併せて開催を企画したが、緊急事態宣言の発出に伴い、開催を中止した。

- ・開催日 令和3年8月24日（火）、8月25日（水）
- ・場 所 須磨パティオ 健康館3階 パティオホール
- ・参加申込者 25名

### (4) 見守り協力事業者等への広報、啓発

あんしんすこやかセンターと協働し、市との高齢者見守り事業に関する連携協定締結事業者に対し、「認知症サポーター養成講座」の受講推進や協力事業者と同センターとの連携を強化するため、高齢者見守りに関する意見交換会を開催し、地域で顔の見える関係づくりを図った。

- ・開催日 令和3年10月27日（水）15:00～16:00
- ・場 所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・参加者 金融機関(4行5支店)、須磨区内あんしんすこやかセンター(8センター)  
神戸市福祉局高齢福祉課、須磨区・北須磨支所あんしんすこやか係、区社協

### (5) 高齢者見守り調査の実施

民生委員・児童委員の協力により、訪問調査を行い、過去1年間に新たに「70歳以上の単身高齢者」または、「75歳以上の高齢者のみの世帯」、以前の調査において見守り不要と返信していた75歳以上の単身高齢者等のうち、日頃の見守りが必要な高齢者の状況を把握した。

### (6) テレホンサポートの実施

ボランティア(テレホンサポーター)が週1回、区内のひとりぐらし高齢者(希望者)宅に安否確認を兼ねて電話をかけ、話し相手や相談等を行った。

- ・実施日数 93日(緊急事態宣言中は事務局にて対応)
- ・ボランティア数 15名
- ・利用者 24名
- ・通話回数 1,323回

## 4 障がい者福祉の推進

### (1) 須磨区自立支援協議会との連携

地域で生活する障がい者のくらしを支える取り組みとして、須磨区自立支援協議会が開催する各部会に参画し、連携、協力を行った。

#### ア まなぼー!!部会

障害がある方の地域生活をサポートできるよう支援者の資質向上を目指した。地域とつながる機会を通してメンバー間で、当事者、事業所が抱えている課題の情報共有と意見交換を行う中で、地域の課題を知り、啓発内容など具体的な方法を検討した。

## イ ともいき部会

「ともに生きる」をいう理念のもと、「災害要援護者支援」や「権利擁護」等の課題解決に取り組み「誰もが暮らしやすいまちづくり」を目指し検討してきた。災害時要援護者支援についての理解を深め、関係機関とともに、「誰一人取り残されない、誰一人取り残さない、誰一人取り残させない」方法を具体的に協議した。

## ウ 親子部会

発達の気になる子どもと保護者の支援と交流を目的に活動し、当事者とその家族のための情報冊子「すまっこナビ」をもとに、情報提供・啓発活動を行った。

### (2) 手話入門講座の開催

須磨区聴力言語障害者福祉協会、手話サークルところと連携し、挨拶や自己紹介等の簡単な日常会話ができる程度の手話技術を学ぶことで、区民が聴覚障がい者への理解を深め、将来的に手話ボランティアとして活動していくために必要な知識を得ることを目的に開催した。

- ・開催日 令和3年4月21日(水)～令和3年12月15日(水) (全20回)
- ・場所 大黒地域福祉センター
- ・参加者 5名(修了者数4名)

### (3) 福祉施設等と連携した活動支援

区内施設と地域住民との交流活動を赤い羽根共同募金配分事業により支援した。また、コロナ禍で自主製品の売り上げが落ち込む障害福祉サービス事業所と連携し、共同募金運動のためのオリジナルグッズを製作することで販路を開拓した。

## 5 児童福祉の推進

### (1) 児童館の管理運営

ア 児童館7館、および3か所の学童保育コーナーの管理運営<市社協運営分>  
《令和3年度 児童館利用状況》 (単位:人)

児童館名	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	放課後児童クラブ 在籍者数 (令和3年6月末)	放課後児童クラブ 在籍者数 (令和4年3月末)	運営委員会
板宿	13,187	45	59	52	書面決議により実施
妙法寺	11,976	41	75	58	
高倉台	14,873	51	60	52	
落合	18,341	63	60	43	
南落合学童保育コーナー	※13,525	※46	※78	※66	
東落合学童保育コーナー	※11,582	※40	※70	※60	
横尾	17,243	59	78	70	
横尾学童保育コーナー	※11,001	※38	※66	※55	
東須磨	15,846	54	80	66	
若草	12,185	41	61	51	
合計	103,651 ※36,108	平均51 ※平均41	473 ※214	392 ※181	

※:学童保育コーナー人数(外数)

イ 神戸市放課後子ども総合プラン事業「放課後こどもひろば」(横尾小学校 のびのびひろば)の運営  
・年間利用者数 7,638名 (1日平均利用者数38名)

## (2) 児童館の運営支援

### ア 児童館巡回相談・支援 職員研修の実施

市社協運営児童館・学童保育コーナーに加え、社会福祉法人及びNPO 法人等が運営する以下の7 児童館及び4 学童保育コーナー、1 分館を対象として、巡回相談や職員研修を実施した。

- ・神の谷児童館 (運営：特定非営利活動法人 かみのたに)
- ・北須磨児童館 (運営：社会福祉法人 北須磨保育センター)
- ・松風児童館 (運営：社会福祉法人 豊友会)
- ・白川台児童館 (運営：社会福祉法人 泰福社会)
- ・菅の台児童館 (運営：特定非営利活動法人 すがのだい)
- ・たかとり児童館 (運営：社会福祉法人 神戸 YMCA 福社会)
- ・大黒児童館 (運営：株式会社 セリオ)
- ・西落合学童保育コーナー (運営：特定非営利活動法人 かみのたに)
- ・松尾学童保育コーナー (運営：社会福祉法人 泰福社会)
- ・竜が台学童保育コーナー (運営：特定非営利活動法人 すがのだい)
- ・だいち学童保育コーナー (運営：株式会社 セリオ)
- ・松風児童館分館 (運営：社会福祉法人 豊友会)

### イ 拠点児童館事業の支援 (落合児童館)

地域の子育て支援の拠点児童館として、以下の専門講座を実施した。実施にあたっては、神戸市総合児童センターの養成講座を受講した子育てシニアサポーター (ボランティア) との連携を行った。

#### (ア) 子育て専門講座

赤ちゃんとのふれあい講座 (4 回連続講座・年2 回)

- ・参加者 親子17 組

#### (イ) 区の特性に基づく事業

##### a. 高学年地域ボランティア (落合児童館子どもヘルパー)

こども会議を開催し、児童館行事や地域行事などに主体的に関わり役割分担など、子ども自らが企画して実施した。

- ・参加者 (実人数) 18 名 (延べ人数) 328 名
- ・対象者 小学校4~6 年生 (3 校)

##### b. おちあいファミリーひろば

就労などで平日児童館に来られない保護者にも参加しやすい土曜日に乳幼児と保護者のふれあいの場を提供した。また、子育て中の保護者同士の仲間づくりにつながるようなプログラムを実施した。

- ・実施回数 3 回
- ・参加者 延べ198 名

#### (ウ) Jidoukan-café(ジェイカフェ)

発達がゆっくりな乳幼児とその保護者が、気兼ねなく遊び、日頃の育児の不安や悩みを共有できる居場所を提供した。

- ・実施回数 38 回
- ・参加者 親子37 組 (延べ246 名)

(エ) 子どものおべんとうひろば

保護者が就労等により自宅不在で放課後児童クラブを利用していない小学生に対し、子育てシニアサポーターの協力のもと、居場所を提供した。

- ・実施回数 53回
- ・参加者 延べ146名
- ・子育てシニアサポーター 延べ50名

(オ) 子育てシニアサポーターの活動支援 登録者数 29名

ウ 児童館事業への支援 (子どもの遊びプログラム派遣事業) 

コロナ禍で制約の多い中でも、乳幼児親子や小学生が楽しめる手遊び等のプログラムを提供した。

- ・開催日 令和3年6月29日～11月25日
- ・回数 14回
- ・参加者 269名 (全児童館)

(3) 児童館合同行事の開催 

ア 高齢者との交流事業の実施  “こころの杜” **Re<sup>3</sup> れれれ 大作戦** 

子どもたちが作成した手紙やプレゼントを、地域の高齢者に届けることで、地域での世代間交流をはかった。

- ・実施期間 令和3年8月～令和4年1月 (合計23回)
- ・参加者 乳幼児61名、小学生258名、大人361名 (うち高齢者350名)

イ 須磨区児童館パネル展示

児童館の紹介などのパネル展示を通して、区民へのPRを行った。

- ・開催日 令和3年12月17日～令和4年3月31日 ※継続中
- ・場所 須磨区役所2階 こども家庭支援課 壁面 (親子ふらっとひろば横)

(4) 地域子育て推進事業の実施 (再掲 資料P5 参照)

## 6 ボランティアセンターの運営

「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを必要としている人」をつなぐ中間支援組織として、人と人が支え合う仕組みづくりを構築し、地域活動の推進を行った。

(1) 登録・紹介

- ・登録者数 個人228名 / 団体188団体 (6,727名)
- ・依頼件数 45件 (紹介数46件)
- ・その他相談、情報提供 133件

(2) 地域ボランティア活動助成事業および県民ボランティア活動助成の受付事務

ボランティア活動を推進するため、ひょうごボランティア基金の県民ボランティア活動助成と神戸市社会福祉協議会ボランティア活動費助成の申請支援および受付を行った。

- ・ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成申請受付 44件
- ・神戸市社会福祉協議会ボランティア活動助成申請受付 7件

### (3) 須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局運営

センター登録のボランティアグループ代表者の有志が集まり結成している須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局として、連絡会の開催や所属団体の活動支援を行った。

- ・開催回数 9回（第1水曜日開催・地域活動支援コーナー他）
- ・参加団体 14団体

### (4) ボランティア保険の受付・請求

- ・受付件数 432件
- ・請求件数 8件

### (5) ボランティア講座等の実施

#### ア SNS活用講座 基礎編・応用編【新規】

SNS（Facebook）の使い方を学び、オンライン上での活動報告やメンバー等を新しい方法で発信していけるようにし、活動へのやる気・充足感を高めてもらう。

- ・開催日 令和3年7月12日（月）・8月5日（木）
- ・内容 ・SNSについて ・facebook登録方法や使い方について
- ・講師 増田真人氏（Webコンサルタント）
- ・場所 須磨区文化センター
- ・参加者 延べ32名

#### イ スクールボランティアスキルアップ講座

区内で活動中のスクールボランティアが意見交換・情報交換等をする場を設け、より充実した活動に繋がっていただくことを目的とする。

- ・開催日 令和3年10月21日（木）
- ・内容 講演会「障がいのある児童の特性とかかわり方について」・座談会
- ・講師 津田克己氏（社会福祉法人 白百合学園 児童家庭支援センターセンター長）
- ・場所 須磨区文化センター
- ・参加者 10名

#### ウ 令和3年度 輝け☆オヤジ塾 ボランティア

「輝け☆須磨オヤジ塾」を須磨区役所まちづくり課と共催により実施。定年前後の男性がボランティア活動について学び、新たな活動につなげることを目的に開催した。

- ・開催日 令和4年1月20日（木）
- ・場所 須磨区役所 2階健康教育室
- ・参加者 20名

#### エ 「KOBE シニア元気ポイント」制度運営協力

高齢者の外出の機会の増加や社会参加の促進を図ることを目的として神戸市が実施する「KOBE シニア元気ポイント」制度の説明会にて、ボランティア活動についての説明や相談受付を行った。

- ・開催期間 令和3年7月～令和4年3月（計6回）
- ・場所 須磨区文化センター・北須磨文化センター
- ・参加者 延べ20名

## オ ボランティア入門カフェ講座

ボランティアに興味のある方へのボランティア活動に対する関心・理解・参加を促すため、受講者が参加しやすいカフェ形式での入門講座を定期開催した。

- ・開催日 毎月第2木曜日（※予約制）（計5回開催）
- ・場 所 須磨区社会福祉協議会 相談室2
- ・内 容 ボランティア基礎・ボランティアセンターの機能と役割
- ・受講者 8名

## カ 傾聴ボランティア講座

コロナ禍でも人とつながることができる傾聴ボランティアについて講師からアドバイスを受け、傾聴スキルを身につけることを目的として開催した。

- ・開催日 令和4年1月21日（金）
- ・場 所 須磨区文化センター 第2会議室
- ・内 容 講演「傾聴ってなあに?? With コロナ時代の傾聴ボランティア」  
希望者への活動案内
- ・講 師 松尾やよい 氏（夢こらぼ 主宰）
- ・受講者 20名

## キ ボランティア交流会の開催

センター登録の団体及び個人のボランティア活動者を対象に、講座形式でコロナ禍のボランティア活動について考える機会の提供を目的として開催した。

- ・開催日 令和4年2月25日（金）
- ・場 所 パティオホール
- ・内 容 講演「With コロナ時代のボランティアについて」・団体紹介
- ・講 師 栗木 剛 氏（Mottoひょうご事務局長）
- ・受講者 27名

## （6）ボランティア活動への支援

### ア 「須磨区ボランティアセンターだより」の発行

須磨区ボランティアセンター登録ボランティアの活動がより充実することを目的に、活動報告や講座などの情報発信を行った。

- ・発行回数 年2回（7月・1月）
- ・部 数 各500部

### イ 絵手紙ボランティア活動【拡充】 **Re<sup>3</sup>れれれ大作戦**

絵手紙ボランティア入門講座修了生等が、ひとりぐらし高齢者等（登録者267名）へ定期的に絵手紙を送る活動を実施した。緊急事態宣言中も在宅での活動を継続した他、区役所1階通路での展示を行い、来庁される区民にも紹介した。

- ・活動人数 51名
- がんばる気持ちを共有～プロジェクト 絵手紙とともに～の実施。【新規】
- ・コロナワクチン接種・予約に来庁する区民に向け、絵手紙ボランティアのメッセージとともに、頑張る気持ちを共有していくため、作品展示を実施した。
- ・開催日 令和4年3月1日（火）～
- ・場 所 須磨区役所4階ホワイトエ部分
- ・内 容 絵手紙ボランティアグループ（一期一絵、ほほ絵み、そよかぜ、チューリップ）による絵手紙の展示

## ウ 軽作業ボランティア「コスモスのたね」

ボランティア登録はしているが、紹介が難しい方や、ひきこもりの方などの社会復帰や外出訓練の場を提供することを目的として開催した。

- ・開催日 毎月2木曜日 ※自由参加
- ・場所 須磨区役所 3階地域活動支援コーナー
- ・内容 エコバック作りなどの軽作業
- ・参加者数 13名

### (7) 須磨区地域活動支援コーナーの利用調整

須磨区役所3階に設置されている「地域活動支援コーナー」について、須磨区から貸室業務を受託し、登録している地域団体やボランティアグループ等の利用調整を行った。

- ・開設日時 月～金 9時～17時(12時～13時は除く) ※区役所開庁日  
※緊急事態宣言中は開設中止
- ・利用件数 139件

## 7 相談・援助活動

### (1) 心配ごと相談所の運営

須磨区民生委員児童委員協議会の地区会長が相談員となり、地域住民の日常生活上のさまざまな相談に応じ、助言や各種制度や関係機関の紹介を行った。

- ・場所 須磨区社会福祉協議会 相談室2
- ・開設日時 毎月第1、3火曜日(13時～15時)
- ・開設回数 20回 ※緊急事態宣言中は閉所
- ・相談員 24名(各回2名)
- ・相談件数 13件

### (2) 生活福祉資金貸付

低所得者や障がい者の経済的自立と、生活の安定を目的とした貸付を行った。貸付にあたっては、地域福祉ネットワークや神戸市「くらし支援窓口」との連携により、一体的な支援を行った。また、新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯に対し、令和2年3月25日より全国一斉に受付開始となった緊急小口資金及び総合支援資金の新型コロナウイルス特例貸付の受付を行った。

ア 貸付総件数 79件 貸付総額 37,125,800円

※新型コロナウイルス特例貸付除く。

《内訳》

#### ①教育支援資金

・貸付件数 67件 貸付金額 37,095,800円

#### ②福祉資金

・貸付件数 8件 貸付金額 1,105,000円

#### ③総合支援資金

・貸付件数 0件 貸付金額 0円

#### ④緊急小口資金

・貸付件数 10件 貸付金額 775,000円

イ 新型コロナウイルス特例貸付総件数 1,787 件 貸付総額 958,040,000 円

①緊急小口資金

・貸付件数 500 件 貸付金額 95,480,000 円

②総合支援資金教育支援資金

・貸付件数 1,287 件 貸付金額 862,560,000 円

(3) 成年後見制度の利用手続き相談室の運営

市民後見人候補者による成年後見制度の概要及び利用手続き説明の窓口を開設した。

なお、緊急事態宣言中は神戸市成年後見支援センターによる電話相談に切り替えた。

- ・場 所 須磨区社会福祉協議会 相談室 2
- ・開設日時 毎月第 2 火曜日 (13 時半～15 時半)
- ・開設回数 9 回※電話相談日を除く
- ・相談件数 1 件

(4) 車いすの貸出し

高齢や疾病などの理由により、一時的に車いすを必要とされる区民に対して車いすの貸出しを行った。

- ・延べ貸出し件数 240 台 (本区 185 台・きたすま障害者相談支援センター55 台)

## 8 福祉教育の推進

(1) 小中学校からの相談への情報提供、講師紹介等

小中学校からの福祉学習に関する相談に対して情報提供を行った。

(2) 福祉教育用機材の貸出し

学校や地域等で福祉学習に活用してもらえるよう福祉教育用機材の貸出しを行った。

- ・貸出し件数 24 件

《備品数・貸出件数》 のべ 63 回

種 類	在庫	貸出	種 類	在庫	貸出
車いす	15 台	14 回	小型点字器	35 台	1 回
高齢者疑似体験セット (S/M/L サイズ)	S4 個	11 回	ゴーグル、プレート	10 個	0 回
	M3 個	12 回	かるたセット	2 個	4 回
	L2 個	3 回	もちつきセット	1 セット	0 回
イヤードیفENDER	10 個	6 回	コミュニケーション麻雀	6 個	3 回
白杖	4 本	4 回	アイマスク	45 枚	5 回

## 9 善意銀行の運営

広く区民から善意の預託を受けた金銭や物品などを管理し、必要に応じて地域福祉の推進のために払出しを行った。また、お米の寄付を受け、「寄贈米がつかなく コロナ禍 緊急食糧支援プロジェクト」として、区内のこども食堂やひとり親家庭の希望者等に配布した。

(1) 金銭

ア 預託 40 件 1,554,507 円  
イ 払出 41 件 1,245,255 円

《払出内訳》

内 容	件数等	金 額
ひとりぐらし高齢者給食サービスグループ助成金	30 件	600,000 円
終活セミナー開催費用	1 件	60,000 円
貸出車いす点検および修繕費	1 件	42,688 円
車いす貸出事業委託費	3 件	36,550 円
公募助成こすもスマイル助成事業	4 件	169,627 円
(指定預託) ローラスライドライト購入	1 件	198,550 円
(指定預託) 子ども用車いす購入	2 件	137,840 円
合 計	42 件	1,245,255 円

(2) 物品 “こころの社協” **Re<sup>3</sup>れれれ大作戦** 

ア 預託 24 件 (お米、切手、衣類 等)

イ 払出 169 件 (区内福祉施設、ボランティア団体、ひとり親家庭、こども食堂 等)

## 10 共同募金運動の推進

### (1) 赤い羽根共同募金

地域団体や学校園等に協力いただき、共同募金の趣旨や役割について啓発強化を行いながら、10月から12月の間、募金運動に取り組んだ。また、1月から3月の間、期間拡大募金として、「募金百貨店プロジェクト」を通じて、事業所と連携した募金運動を行った。

募金運動期間 令和3年10月1日(金)～令和4年3月31日(木)

ア 募金実績額 (一般、歳末、拡大期間1～3月) 5,720,600 円

《募金種別内訳》

募金種別	実績額 (円)	概 要
戸別募金	3,401,531	各地域団体等の協力による戸別募金
街頭募金	380,022	10月～12月の街頭募金 (実施回数8件)
法人募金	736,724	企業、事業所、医院、歯科医院、薬局など募金百貨店 (期間拡大)
職域募金	291,944	バッジ・クリアファイル、クオカードなど資材募金
学校募金	489,037	区内幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校
その他募金	421,342	個人、ボランティアグループ、イベント、利息等
合 計	5,720,600	

イ 拡大期間募金（実施期間：令和4年1月～3月） 合計13,233円

- ・募金百貨店プロジェクト 1件 3,389円  
協力：障害福祉サービス事業所ころわ  
「寄付つきお弁当（カレー）による募金」
- ・その他 神戸市社会福祉協議会等 9,844円

ウ 地域配分額 1,726,086円（前年度募金実績額に応じた須磨区への配分）  
共同募金を財源として、福祉啓発活動や須磨区内の各福祉関係団体等の活動に対して助成を行った。

《内訳》

高齢者福祉活動事業	201,983円（老人クラブ助成）
障がい者（児）福祉活動事業	332,420円（障がい者団体への助成等）
児童・青少年福祉活動事業	708,281円（保護司会助成、子ども会助成等）
母子・父子福祉活動事業	150,990円（母子福祉施設等）
福祉育成・援助活動事業	253,972円（施設の地域交流事業等）
公募助成事業	78,440円（こすもスマイル助成）

## （2）歳末たすけあい募金

歳末の地域福祉施設や地域活動支援のため、共同募金とあわせて募金活動を実施し、助成を行った。

- ・配分金額 1,159,715円

《内訳》

ひとりぐらし高齢者等給食サービスグループ（26グループ）	730,220円
ひとりぐらし高齢者等友愛訪問グループ（116グループ）	357,075円
障がい者事業所（7か所）	72,420円

## （3）福祉学習

赤い羽根共同募金における参画と協働を通じた「新たな助けあいの創造」を目指し、次代を担う児童・青少年に対し、募金運動を通じた福祉学習や街頭募金活動支援を行った。

- ・実施回数 4回（神戸星城高等学校、友が丘高校、落合児童館、東須磨児童館）

# 1 1 広報、啓発事業

## （1）区社協だより「こすもす」の発行

区社協の活動紹介や協力団体の活動状況の発信等、写真やイラスト等を活用し、広く区民に親しみのもてる紙面づくりに努め、広報、啓発を行った。

- ・発行回数 1回（令和3年10月1日）
- ・部数 新聞折り込みにより区内全域及び関係団体に配布  
58,850部

## （2）区社協ホームページ等の運営

ホームページの更新を通じて、災害支援募金や各種講座の案内、共同募金の活動報告等、適時更新し迅速な情報発信を行った。また、「Facebook」「ご近所SNS マチマチ」にも区社協ページを開設し、タイムリーに広報活動を行った。

- ・内容 区社協の概要、区社協だより、募集、お知らせ等
- ・更新回数 104回
- ・アドレス <https://www.suma-shakyo.or.jp/>

### (3) 地域団体広報活動支援

地域活動やボランティア活動に取り組む団体の支援を目的に印刷機を新調し、貸出を行った。

- ・貸出件数 132 件

### (4) マスコットキャラクターの活用

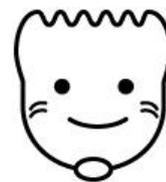
須磨区社協マスコットキャラクター「こすもちゃん」を、広報時にイラストとして積極的に活用した。



▲ 区社協ホームページ  
(<https://www.suma-shakyo.or.jp/>)



▲ 区社協 Facebook ページ



須磨区社協マスコットキャラクター  
「こすもちゃん」

## 1 2 地域における公益的な取組

### (1) 「神戸市須磨区社会福祉法人連絡協議会」への支援

須磨区の高齢・障がい・児童・保育等の社会福祉事業を運営する社会福祉法人が連携して地域福祉課題にアプローチし、地域社会への貢献をめざす、須磨区社会福祉法人連絡協議会（愛称：ほっとかへんネット須磨）の運営を支援した。

- ア 役員会 3回
- イ コア実務者会 2回
- ウ 実務者会 0回
- エ 全体会 2回（書面決議・オンライン会議）
- オ 研修 1回

「令和3年度 福祉なんでも相談窓口相談員研修」

（神戸市内社会福祉協議会「ほっとかへんネット」合同研修）

- ・開催日 令和3年7月18日(火) ※オンライン開催
- ・内容 講義「地域共生社会の実現に寄与する 社会福祉法人の役割と可能性」  
講師：新崎 国広氏(大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 特任教授)  
相談援助スキルトレーニング（傾聴力・雑談力）  
事例紹介・事例検討
- ・参加者 64 法人 97 名（うち須磨区内法人参加 9 法人 10 名）

### (2) 実習生の受入

福祉人材の育成への取り組みとして、社会福祉士相談援助実習の実習生を受け入れた。

- ・受入人数 2名